

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【東宮下小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> さいたま市学力状況調査では、主語・述語の関係を捉える問題に課題がみられた。 <指導上の課題> 「言葉の特徴や使い方に関する事項」への取組を全学年で重点的に取り組む。	⇒ 朝の学習の時間に行うチャレンジ国語・算数等でのプリント学習において、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組む【年間70回以上の実施】。授業中に児童が自らの学びを振り返る時間を設定し、次の学びに生かせるようにする【毎時間設定】。
思考・判断・表現	<学習上の課題> 根拠となる部分を引用して自分の考えを具体的に書くことに課題がみられる。 <指導上の課題> 各教科の授業で、根拠資料や友だちの考えを基に、自己の考えをまとめる活動を重視していく。	⇒ 児童が作品、ノート、ワークシート等に取り組む際、評価の観点に示し、児童が思考したプロセスにコメントや花丸等を付記して、評価する【毎回実施】。日々の授業の中で多様な考えに触れたり、じっくりと考える機会を意図的・計画的に設定する。【R7年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」の肯定的な回答が90%以上】

全国学力・学習状況調査
<小6・中3> (4月～5月)

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	① 結果分析(管理職・学年主任等) ② 詳細分析(学年・教科担当) ③ 分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	国語においては、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるか問う設問に対し、類型解答をみると、正しく情報を整理して思考することに困難さが見られた。算数の「図形」領域において課題がみられた。条件にあっている図形を求める問題の誤答が多いことから、図形の性質を理解できていないと推測できる。	
思考・判断・表現	国語では、調べたことを基に詳しく書く設問において課題が見られた。解答類型として、指定された条件の中にある必要箇所に着眼しなければならない問題に対し、読み解くことに困難さが見られ、それらの語句を使用しながら解答することができていなかった。また、目的に応じて文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけることにおいても課題が見られた。 算数では、分数において課題が見られた。もとにする数と同じ数に揃え、該当の分数の何個分かを問う問題で通分をすることはできているが、それぞれの数のいくつ分かを解答することができていなかった。	

- ① 結果分析(管理職・学年主任等)
② 詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	B	朝の学習の時間に行うチャレンジ国語・算数等でのプリント学習、授業内における反復学習は計画通り実施できている。しかし、授業中に児童が自らの学びを振り返る時間を設定する時間についてはすべての時間での実施はできていない。	変更なし
思考・判断・表現	B	児童が作品、ノート、ワークシート等に取り組む際、評価の観点に示し、児童が思考したプロセスにコメントや花丸等を付記して、評価している。授業の中で多様な考えに触れたり、課題に対して、じっくりと考える機会を意図的・計画的に設定している。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)